

お子さんの誕生を記念して 「フォレストタウン記念植樹祭」

9月28日、「フォレストタウン記念植樹祭」がかなやま湖畔で行われました。

この事業は、結婚やお子さんの誕生など、記念すべき事柄があったご家族に参加を呼び掛けて、平成13年から行っているもので、8年目を迎えました。

今年は、お子さんが誕生された9世帯33名の皆さんが参加しました。

参加者や来賓の前に池部町長は、「植樹をした木が成長するように、子どもたちがすくすくのびのびと、そして



て木の温もりのような家庭を築いてもらうことを心より願っています。」とあいさつされました。

参加した皆さんは、「さわやかな秋晴れの下、名前と記念日が書かれたプレートが建てられている場所に、約3メートルほどのエゾヤマザクラの苗木を丁寧に植樹しました。併せて、町木のクルミの種の植え付けも行いました。

記念植樹の後には、来賓による植樹も行われました。

参加した皆さんには、木製の額に入った記念証が町長から贈呈され、最後に全員で記念撮影を行い、今後の苗木の成長と子どもの成長を楽しみにしながら笑顔で会場をあとにしました。

本事業は、ニトリ北海道応援基金の助成を受けて実施されました。

札幌大通公園でエゾカツをPR 「なんぷエゾカツカレー推進協議会」

札幌市の大通公園を会場として「さっぽろオータムフェスト2008」が9月19日から10月5日まで開催され、なんぷエゾカツカレー推進協議会の皆さんが、今年新たに誕生した本町の新ご当地グルメ「なんぷエゾカツカレー」を札幌市民をはじめ多くの観光客の皆さんにPRしました。

「なんぷエゾカツカレー」は、開催期間中の第3期（9月30日から10月5日）に5丁目会場に出店。同期には「深川そばめし」「美瑛カレーうどん」「日本海えびたこ餃子」「オホーツク北見塩やきそば」の計5店が出店され、同会場では「北海道ラーメン祭り」も同時開催されていました。

9月30日11時から販売を開始。初日ということもあり、大通公園内には多数の来場者があり、予定数250食を完売する幸先の良いスタートとなりました。

10月1日、3日には雨天ということもあり来場者が少なく、予定販売数に達することができませんでした。4日、5日はイベント最終土日



ということもあり、5丁目会場内には多数の市民や観光客が詰めかけ、特に最終日の5日には336食が売れ6日間の最高売数となるなど大盛況でした。

「なんぷエゾカツカレー」を初めて食べたという来場者の皆さんからは、「おいしかった」「鹿肉のイメージが変わった」などの意見が多数寄せられたほか、「ぜひ南富良野に行つて食べてみたい」という声もありました。

出店期間中予定していた1,200食を大幅に超える1,327食を販売し、「なんぷエゾカツカレー」を大いにPRしました。

空知川の上下流域住民が植樹で交流

9月28日、かなやま湖畔のアオダモの森で、「緑とエゴ」サポーターネットワークの森創造交流会が行われ、滝川市のボランティアグループ「緑とエゴ」サポーターネットワークの皆さんをはじめ、芦別市の「水からはじまるふるさと塾」の皆さん、本町のレディース1000年の森林業グループの皆さんなど合わせて94名が参加して、アオダモやシラカバなど4種類の苗木が植樹されました。

植樹には、滝川市の田村市長も出席され、水源の森をつくることの大切さと、空知川上流部に位置する南富良野町の森づくりに対して感謝のことが述べられ、植樹を通じた



上下流域の交流について、今後も継続して取り組んでいくことについて確認され、池部町長と固い握手を交わしていました。

この事業は、空知川の最上流部に位置する本町と空知川を水道水源として利用している下流域の滝川市が共通の認識を持ち、一体となって水源の確保を維持することを目的として開催されているもので、今年からは芦別市や富良野市の住民の皆さんも参加され、空知川の上下流域が一体となった「水源の森」づくりが進められます。

これまでに、シラカバなど5種類250本の苗木を植樹いただいております。この事業に参加された下流域の皆さんにも、本町の森林整備活動に触れることで、理解を深めていただいています。

本事業は、ニトリ北海道応援基金の助成を受けて実施されました。

ぽっぴやの舞台「幌舞駅」(JR幾寅駅) 本州や札幌などからのツアー客で賑わう

10月14日、映画ぽっぴやの舞台となった幾寅駅に本州や札幌などからのツアー客が多数訪れ、大きな賑わいを見せました。

このツアーは、旅行会社クラブツーリズムの企画として「富良野ノロッコ紅葉号」の運行が行われ、富良野地方の紅葉を鑑賞したあと、幾寅駅下車し、ロケ地見学や本町の秋の味覚を味わうなどの行程となっており、NPO法人南富良野まちづくり観光協会が中心となって受け入れ準備を進めてきたものです。

当日は、幾寅駅前広場において、「南富良野秋のあつたかお振舞い」と題して、町婦人団体連絡協議会・

町商工会女性部の皆さんによる「ふかしいも」や「ゆでとうきび」などの振舞いをはじめ、情報プラザ内では「北の恵み！大収穫祭」と題して、ふらの農協南富良野支所や町振興公社による農産物や加工品などの販売、なんぷエゾカツカレー推進協議会による「なんぷエゾカツカレー」の販売などが催され、訪れたツアー客の皆さんは、本町の魅力をたっぷり味わっていました。

今回のツアーは、10月15日、18日、19日にも行われ、4日間合わせて道内外から延べ800名のツアー客が幾寅駅を訪れました。

